

# 競技注意事項

## 1. 規則

競技は2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。なお、2022年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

## 2. 練習

- (1) 練習は第2競技場（7：30開場）とし、安全面に十分注意して行うこと。第2競技場の使用は選手のみとする。
- (2) 会場への投擲物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に本競技場に入場してから行う。
- (3) フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- (4) 器具を使用したあとは、手洗いをする。

## 3. 競技場とスパイクの使用

- (1) 本競技場は全天候型である。
- (2) 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。
- (3) シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。  
トラック種目  
800m未満：20mm以内  
800m以上：25mm以内  
フィールド種目  
走高跳：20mm以内（かかとを含む）  
走幅跳：20mm以内（ただし前部が踵部より厚くならない）  
砲丸投：20mm以内

## 4. 選手受付（招集方法について）

- (1) 競技者本人は競技開始の60分前までにJAAF健康管理チェックシート兼大会出場承諾書をTICへ提出し、アスリートビブス（安全ピン8本は各自で準備）と荷物入れ用のビニール袋を受け取る。未提出者は競技に出場できない。なお、予選を通過し2日目の決勝に進出した競技者・チームと、四種競技の2日目に出場する競技者は、一次招集時に招集所で検温を受けること。一次招集所へは第4ゲート（100mスタート付近）から入る。
- (2) 一次招集所は、スタンド下雨天走路内スタート側に設置する。
- (3) 一次招集完了後、トラック競技はスタート地点、フィールド競技は競技場所に移動し、二次招集を受ける。
- (4) 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。競技を棄権する選手は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技開始60分前までにTICへ提出すること。
- (5) 選手は、一次招集所でアスリートビブスの確認を受けること。また、800m・1500m・3000mの選手はシューズのチェックを受けなければならない。
- (6) 招集開始及び完了時刻は下記の通りとし、競技者本人が行うこと。

種目	一次招集	二次招集
トラック種目	競技開始45分前～30分前	競技開始10分前完了
フィールド種目	競技開始60分前～45分前	競技開始20分前完了

- (7) トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカード（レーンナンバーカード）を受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。
- (8) 混成競技について  
1種目め、3種目めの招集は、招集所で点呼を受ける。  
2種目め、4種目めの招集は、競技場所で点呼を受けること。  
※フィールド種目は競技開始30分前、トラック種目は15分前までに、競技場所に集合すること。  
※2日目については、一次招集時に検温を受けること。

## 5. 入退場

- (1) 入場についてはマーシャルの指示・誘導に従う。
- (2) トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1ゲート付近臨時手洗い場で手洗いをしてスタート付近に戻り、荷物を持って待機場所へ戻ること。
- (3) フィールド競技は、競技終了後に荷物を持って臨時手洗い場もしくは雨天練習場で手洗いをしてベンチに戻る。

## 6. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは第47回千葉県中学校新人陸上競技大会指定のものを使用する。
- (2) アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

## 7. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、決勝、ネクストステージレース（NSR）の組・走路順は本部で抽選し、アナウンス及び速報サイトにて掲載する。

## 8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

## 9. 3000mのスタート方法、給水について

3000mにおいてグループスタートを採用する。その際、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。〔第162条⑩〕また、気象条件によっては給水を行う。

## 10. リレー競技について

- (1) リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙をTICで受け取り、必要事項を記入し、二次招集完了時刻の60分前までにTICに提出すること。ラウンド毎に提出すること。
- (2) リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- (3) リレーのマーカの使用は1カ所とする。〔TR24.4〕

## 11. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	
共通 男子走高跳	1m40 1m50	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降3cmずつ
共通 女子走高跳	1m20 1m35	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	
共通 男子棒高跳	2m60 2m80 3m00	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	以降10cmずつ
共通 女子棒高跳	2m00 2m20 2m40	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	
男子 四種走高跳	1m25・40	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降3cmずつ
女子 四種走高跳	1m05・20	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	

- (2) 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、ジャンプオフ（第1位決定）のためのバーの上げ下げの範囲は走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。〔第181条⑧〕

## 12. 番組編成

1000mから800mまで、また4×100mRで決勝の番組編成は、上位1～4位の4名、または4チームを中央の3～6レーンに、5、6位が7、8レーン、下位2名または2チームを1、2レーンにアトラダムに割り当てて決定する。

## 13. 計時・競技の抽選

- (1) 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは下記の方法で競技を行う。
  - ア、400m以下の競走競技、障害走においては、1000分の1秒以上の比較をし着差の判定をする。それでも判定できない場合は、競技者又は代理人によって抽選をして決定する。
  - イ、800mにおいては、アと同様に比較し、それでも判定できない場合は、次のラウンドに進める。（レーン内に2名の競技者が走る）

## 14. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、全て失格とする。2022年度日本陸上競技連盟競技規則第TR16.5の適用はしない。

## 15. フィールド競技について

- (1) 走幅跳、砲丸投は2回の試技とする。記録上位8名がトップ8へ進出し、さらに3回の試技を認める。
- (2) 棒高跳、砲丸投について、棒高跳、砲丸投で使用する滑り止めは各自で準備をし、滑り止めを他人と共有はしない。

## 16. 用器具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）または、跳躍審判員の検査を受けてから使用する。

## 17. 抗議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（全てのラウンドにおいて15分以内、ただし翌日に上位ラウンドがある競技は30分以内）に各顧問がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

## 18. 表彰

表彰は行わない。8位までの入賞者はアナウンスの結果やWEBの大会速報を見てTICにメダル、賞状を取りに来る。(30分～45分を目途)

## 19. その他

- (1) 記録の発表は、アナウンス及びWEBの大会速報のみとする。記録の掲示はしない。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手の控え場所としては、陸上競技場コンコース、芝生スタンド、陸上競技場1階軒下、第2陸上競技場、陸上競技場周辺木陰とする。必ずフィジカル・ディスタンスを保つこと。テントを設置する場合、密閉せずに風通しを良くすること。スポーツセンター内は公共の場であることから7時以前の場所取りは禁止する。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については1日目、2日目とも競技開始1時間前までに、申込責任者がTICへ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (7) レースを棄権する競技者は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。
- (8) 選手は、競技中以外はマスクを着用すること。
- (9) 第2競技場は準備が整い次第(7:30予定)正面入り口より入場を許可します。第2競技場へは、選手・競技役員・ADを着用している顧問、引率者、クラブコーチとする。
- (10) 駐車場については、緊急車両駐車スペース等(ゼブラゾーン)への駐車を避け、つめて駐車すること。なお、駐車証の無いものは大駐車場を利用し、路上への駐車や停車は行わないこと。バスを利用する場合、競技場正面での乗降を可とするが、駐車は大駐車場を利用する。乗降については各校で安全確保をすること。
- (11) 応援生徒(出場校の1,2年生のみ)は第3ゲート(200mスタート地点)より入場し、受付で各校の引率者が応援生徒受付名簿に体温を記入し提出する。応援生徒は芝生スタンドとコンコーストイレのみの解放としメインスタンドでの観戦はしない。また、応援生徒の練習や付き添いは禁止とする。受け付けは8:30から開始する。
- (12) 保護者の観戦受付はメインスタンド入り口とする。